

保存版

# 甘沼 防災 マニュアル

## 家族を大地震から守るために

この小冊子は、私たちが住む甘沼地域の大災害（大地震・大災害）に対して、日頃の準備と基本的な行動についてまとめたもので、災害を防ぐことは出来ませんが被害を減らすことは出来ます。甘沼地域から1人も犠牲者を出さないために、この防災マニュアルをご活用願います。

1. 甘沼地区の災害危険度を知ろう
2. 大災害に備えて、今やるべきこと
3. 大地震が発生したら（行動マニュアル）
4. 避難が必要な場合（避難行動の流れ）
5. 避難生活のために
6. 防災情報（緊急連絡先他）

# 1. 甘沼地区の災害危険度を知ろう

一口に災害といってもそれぞれの地域毎に、災害の危険度と想定される被害が大きく異なります。特に、私たちが住む甘沼は、道幅が狭く、木造住宅の密集した地域であるため、

- ① 家屋の倒壊・家具の転倒
- ② クラスター火災
- ③ がけ崩れ（土砂災害警戒区域に指定された地域）

などで、私たちの財産と生命が失われることが想定されております。

## 甘沼地区の地震・異常気象による危険度（噴火除く）

危険度大

- ① 家屋の倒壊・家具の転倒 ..... 震度6強～7（南関東地震）による家屋の倒壊（家具）
- ② クラスター火災 ..... 甘沼・香川・松風台（4,820棟の延焼運命共同体）
- ③ がけ崩れ ..... がけ崩れの可能性あり（土砂災害警戒区域）
- ④ 津波 ..... 影響ないと思われます（最大9.6m）
- ⑤ 液状化 ..... 液状化の可能性有り～可能性大
- ⑥ 洪水 ..... 一部地域に内水浸水あり
- ⑦ 相模川氾濫 ..... 影響なし

### 死のリスク① 家屋の倒壊・家具の転倒

甘沼地区の大地震による想定最大震度は、6強～7が想定されています。

阪神淡路大震災では、死者の約8割が家屋の倒壊や家具の下敷きになり亡くなっています。



**ご自身と家族のために今すぐ対策をしましょう**

### 死のリスク② クラスター火災（延焼運命共同体）



茅ヶ崎市は、県内でも最大規模の木造住宅密集地域を抱える都市構造で、また、道路が狭く、公園等が少ないため、神奈川県最大の火災危険地帯です。最悪の場合、茅ヶ崎市の約33%の家屋が焼失することが予測されています。

私たちが住む甘沼は、香川・松風台・みずきの一部で4,820棟（延焼運命共同体）のクラスターを形成しており、茅ヶ崎市でも3番目の火災危険地帯となっています。このクラスターとは、地域内の建物から1件でも出火し、そのまま放置した場合に建物全てが焼失する単位のことを言います。

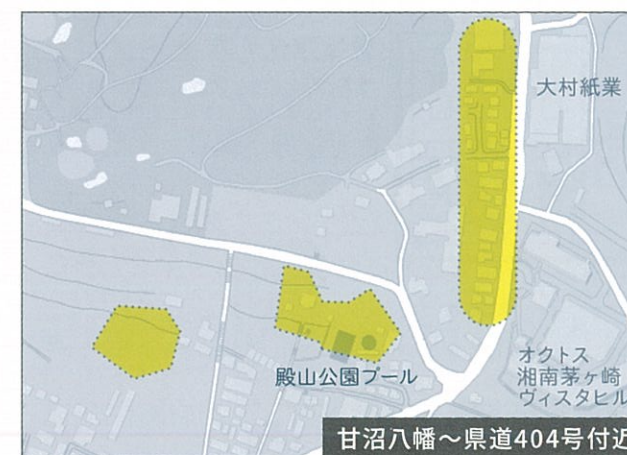
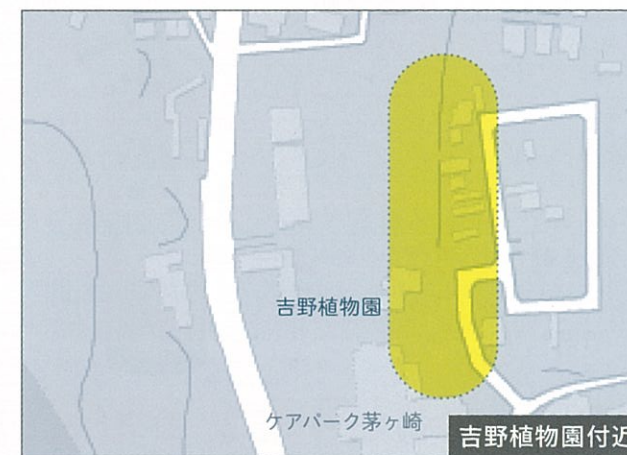
**火を出さない、火災が発生したらすぐに消すことが、大切です。**

大火災から避難するには、**広域避難場所**へ

**スリーハンドレッドクラブ・湘南カントリー倶楽部ゴルフ場**

### 死のリスク③ がけ崩れ（土砂災害警戒区域）

下図のように甘沼の一部地域が土砂災害警戒区域に指定されています。特に、大雨が予想される場合は、事前の避難をしましょう。がけから離れた部屋、2階等への避難、大雨警報が発令されたさい、早期避難場所（香川公民館等）へ早めに避難しましょう。（早期避難場所の開設は、茅ヶ崎市ホームページ、防災無線、神奈川テレビdボタン等で確認）



## 2. 今やるべきこと 大災害(大地震・大火災)に備えて

大災害が起きたとき、「地域住民同士の助け合い」と「防災への備え」で被害を最小限にすることができます。

### ご自身と家族のために今やるべきこと

#### 防災への備え① 家屋の耐震化

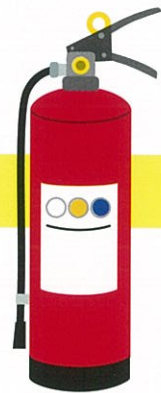
特に、1981年(昭和56年)6月1日 建築基準法改正(新耐震)前の木造住宅の場合は、耐震診断を行い、家屋の補強をしましょう。阪神・淡路大震災では、死者の80%相当(約5,000人)が木造家屋が倒壊し、家屋の下敷きになって即死しています。特に1階で就寝中に圧死した人が多かったため、出来るだけ2階で就寝しましょう。

#### 防災への備え② 家具の転倒防止



阪神・淡路大震災の死者の10%相当が「室内家具の転倒による圧死」と推定されており、また、多くの人が怪我をしております。

- ・家具の**転倒防止**
  - ・タンス等の上に、**重いものを乗せない**
  - ・テレビ、冷蔵庫等の大型家電製品の**転倒防止**
- 今すぐ、対策しましょう。

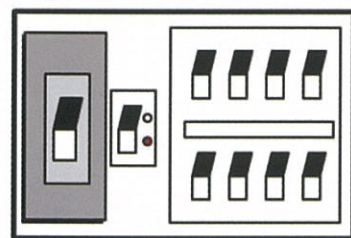


#### 防災への備え③ 消火器の設置

甘沼は、香川・松風台・みずきの一部で4,820棟の延焼運命共同体(クラスター)を形成しております。火災が発生したらすぐに消火するための、**消火器等**を設置しましょう。

#### 防災への備え④ 感震ブレーカーの設置

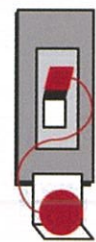
地震による火災の6割以上は、電気が原因です。地震による転倒や落下で傷ついた「電気コード」による通電火災や、停電後の再送電により電気製品が再び作動し、火災が発生します。**避難するときは、ブレーカーを必ず落として避難しましょう。**また、電気による火災防止のため、**感震ブレーカー**を設置しましょう。



**分電盤タイプ**  
地震感知機能を内蔵し、設定震度以上の揺れを感知すると自動で電気を遮断



**コンセントタイプ**  
地震感知機能を内蔵し、揺れを感知するとコンセントごとに電気を遮断



**簡易タイプ**  
ブレーカーのスイッチに取り付けたおもりやバネが外れ、電気を遮断

### ① 自分の安全は、自分で守ろう(まずは自助)

大災害に備えてご自身とご家族のために、普段から備えましょう。特に、大地震に備え、家屋の倒壊や家庭内の家具・家電製品などの転倒や移動から身を守るため、家屋の耐震化、家具の固定や避難場所・経路を確認しておきましょう。

- 家屋の耐震化** 家屋の耐震診断と補強をしましょう
- 家具の転倒・落下防止** 家具類のほか冷蔵庫・テレビ等の電化製品も固定し、高いところに重い物を置かないようにしましょう
- ブロック塀の点検と改善** 倒れる危険のあるものは補強や、柵や生垣等に取り替えましょう
- ガラスの飛散防止** ガラス飛散防止フィルム等を貼りましょう
- 出火防止** 感震ブレーカーや火災警報器を設置しましょう
- 初期消火の準備** 消火器の準備をしておきましょう
- 広域避難場所と避難ルートの確認** 事前に危険から逃れるためのルートを確認しておきましょう
- 非常持出品の準備** 食料・飲料水・日用品・貴重品等を準備しましょう、また、日頃服用している薬、かかりつけ医、介護支援員などを記したものをに入れておきましょう
- 保存食の準備** 最低7日間以上の生活用品を保管しましょう。(水、食料品、常備薬、他)  

備蓄可能で日常的に飲食しているものを普段買う量の2倍用意し、古いものから使って半分量になったら補充すれば、無駄なく食料を準備できます
- トイレの準備** 汚物用凝固剤、ビニール袋を用意しておきましょう
- 災害時の対応について家族と事前に話し合っておきましょう**
- 高齢者・障害者の方は、避難行動要支援者制度を活用しましょう**

### ② 地域住民同士の助け合い(つぎに共助・近所)

共助とは「ご近所さんの住民同士がお互いに助け合う行動」です。大地震の発生により、家屋・家具の下敷き、又は、怪我をした場合、警察・救急車を呼んでも、甘沼地域に車が入ってくることは、ほとんど不可能です。従って、**地域住民同士の助け合い(共助)**により救助・救護・避難を行い、一人でも多くの命を助けましょう。

- 普段からお隣さん・ご近所さんとのコミュニケーションを持ちましょう** 特に、高齢者や障害のある方は、普段からご近所の方とコミュニケーションを持ちましょう
- 安否確認と安全確認のための「一時避難場所」を決めておきましょう**
- 防災訓練に参加し、救助や移動式格納ホース箱の取り扱いを知っておきましょう**

# 3. 大地震が発生したら 命を守る・火を出さない

## ① 自分の安全確保、家族の安全確認をしましょう



- ① テーブルの下など家の中での**安全な場所**に移動
- ② ゆれが止まったら、ストーブ、ガスコンロなどの**火を消す**
- ③ 地域が停電した場合や、避難する時は通電火災を防ぐために**ブレーカーを落とす**
- ④ 家族の無事を確認したら、無事を知らせる目印として玄関先に**タオル**などを掲示

## ② 自宅が無事であれば、ご近所(組単位)の安否を確認しましょう

- ① 玄関に無事を知らせるタオルがかかっていないお宅の安否を確認する
- ② 火災などが発生して非難が必要な場合ご近所に声をかけて一時避難場所へ移動する
- ③ 要支援者が登録されている組は、防災リーダーや組長が安否を確認する

## ③ 自宅で火災が発生した場合

- ① 大声で「火事だ」と叫び、**消火器**等で消火する
- ② 近所に火災の発生を知らせる
- ③ 火が天井に燃え移った場合は、全員屋外に避難する
- ④ 移動式格納ホースで消火・延焼防止を行う



## ④ 避難が必要になった時の行動(火災、津波)



- ① 近所に避難を声掛けし、組単位で出来るだけまとまって避難しましょう
- ② 避難経路は、周辺の道路損壊や火災の発生状況を見て決め、**広域避難場所**(スリーハンドレッドゴルフ場あるいは湘南カントリー倶楽部)に避難しましょう  
【注意】 ペットの避難も忘れずに!

## ⑤ 地震や火災が治ったら自宅あるいは避難所に移動する

- ① 基本は、在宅避難ですが、家屋倒壊などで自宅に住めない場合は避難所を利用します
- ② 避難所は以下の通りです

避難所	香川小学校、室田小学校、鶴が台小学校
医療救護所・避難所	鶴が台中学校、松林中学校

# 4. 避難が必要な場合 避難行動の流れ



## 絶対、車で避難をしないこと。

道路は緊急車両を優先すると共に、甘沼地区は、ブロック塀の倒壊、液状化等により、車で地域内通過はほとんどできません。

### 非常持出品

- タオル
- 雨具・その他
- 懐中電灯
- 医薬品
- 携帯ラジオ
- 飲料水
- 食料
- 貴重品

## 5. 避難生活のために

### 自宅が無事なら避難生活は、在宅避難(自宅)が基本

最低1週間以上の水・食料品を用意して置きましょう。また、トイレ用として汚物用凝固剤、ビニール袋を用意しておきましょう。



自宅が住めない場合は、安全(火災等)を確認の上、避難所に避難しましょう

#### 避難所・医療救護所の開設

地震発生(震度5弱以上)	避難所・医療救護所を開設
初動機(災害発生～24時間頃)	避難所を開設 避難者の安全第一
展開期1(24時間～1週間頃)	共通ルールに伴い避難生活を始める体制構築
展開期2(1週間頃～3週間頃)	避難者を主体とした運営体制に移行
安定期～撤収期	安定した運営の確保とメンタルケア、避難所の閉鎖に伴う避難者の生活再建支援

### ペットのことも忘れずに!

#### 平常時の備え

- ① ペットのしつけと健康管理
  - ・ケージやキャリーバックに慣らしておく
  - ・予防接種やノミなどの外部寄生虫の駆除をしておく

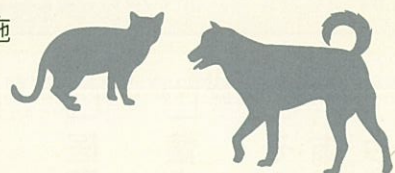
- ② ペットが迷子にならないための対策  
(首輪、マイクロチップ等による所有者明示)

- ③ ペット用避難用品の確保

- ④ 不妊・去勢手術の実施

#### 災害時

- ① ペットとの同行避難
- ② 避難所におけるペットの飼育マナー遵守と健康管理



## 6. 防災情報

### 災害時の緊急連絡先

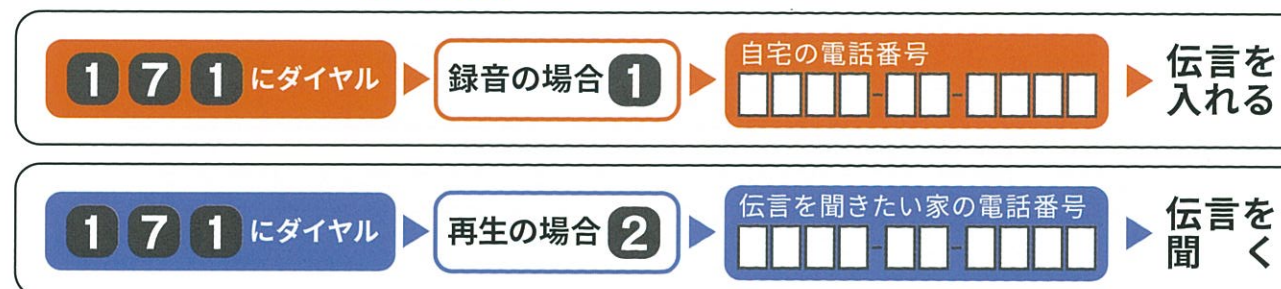
通信各社では、通信の混雑の影響を避けながら、家族や知人との間での安否の確認や避難場所の連絡等をスムーズに行うため、固定電話・携帯電話・インターネットによって、次の「災害用伝言サービス」を提供しています。

#### 災害用伝言板サービス

- 災害用伝言ダイヤル(171)
- 災害用伝言板
- 災害用伝言板(WEB171)
- 災害用音声お届けサービス

### ① 災害用伝言ダイヤル(171)の利用方法

災害時に、固定電話、携帯電話・PHS等の電話番号宛に安否情報(伝言)を音声で録音(登録)し、全国からその音声を再生(確認)することができます。



#### 利用できる電話

災害用伝言ダイヤルは、加入電話(プッシュ回線、ダイヤル回線)、公衆電話、ISDN、携帯電話・PHS、IP電話から利用可能です。(詳細はご利用の電話会社にお問い合わせください。)

### ② 災害時の緊急連絡先

東京電力平塚支社	☎ 0463-34-5158
東京ガス(ガス漏れ通報)	☎ 0570-002299
県企業庁茅ヶ崎水道営業所	☎ 0467-52-6151
茅ヶ崎市役所	☎ 0467-82-1111
茅ヶ崎警察署	☎ 0467-82-0110
消防署	☎ 119
茅ヶ崎市民病院	☎ 0467-52-1111
茅ヶ崎中央病院	☎ 0467-86-6530
湘南東部クリニック	☎ 0467-83-9111
茅ヶ崎徳州会病院	☎ 0467-58-1311
神奈中央ハイヤー	☎ 0467-51-2152
香川第一交通タクシー	☎ 0467-51-1119
富士見交通タクシー	☎ 0120-88-1243
相模中央交通タクシー	☎ 0120-77-7701

# 茅ヶ崎市 甘沼地区のその他の情報

## ① 茅ヶ崎市の人口と保存食備蓄状況 (H28年9月現在)



人口

239,998人

98,992世帯

保存食料



乾燥米飯 (5年保存) 74,250食

乾燥粥 (5年保存) 24,900食

茅ヶ崎産米粥 (3年保存) 21,080食

粉ミルク (1年保存) 131kg

茅ヶ崎市の保存食の備蓄は、一人当たり一食分もありません。  
各ご家庭で1週間分以上の食料・水を保管しましょう

## ② 最大予測津波高さ (津波高の単位：T.P.m)

平成24年3月神奈川県公表資料



想定地震

茅ヶ崎市 (甘沼地区平地部の標高は約10～12m)	9.6	相模トラフ中央
大磯	17.1	相模トラフ西側
三浦市	15.4	相模トラフ中央
鎌倉市	14.5	相模トラフ西側
横須賀市 相模湾側	13.2	相模トラフ西側
藤沢市	11.5	相模トラフ西側
逗子市	10.2	相模トラフ西側
平塚市	9.6	元禄連動
横須賀市 東京湾側	9.2	慶長型地震

## ③ 甘沼地区 平成20年度 地震による地域危険度測定調査報告 (茅ヶ崎市)



歩行者 (2m) 地区内通過確率

10～15%



緊急車両 (4m) 地区内通過確率

5%未満

甘沼地区の道路は、車両が通行出来ないため  
歩いて避難しましょう

## ④ 茅ヶ崎市の住宅の耐震化率と目標



H18

65.4%

H25

80.8%

H32

95% ←目標

木造戸建て住宅を中心に、新たに約9,400戸の耐震化が必要

1981年(昭和56年)6月1日建築基準法改正(新耐震)前の  
木造住宅の場合は、耐震診断を行い、家屋の補強をしましょう



甘沼自治会・甘沼自主防災会  
2017年2月発行